

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語 I A
科目基礎情報						
科目番号	0013		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科		対象学年	1		
開設期	前期		週時間数	4		
教科書/教材	〔教科書〕 Revised LANDMARK English Communication I (啓林館), 〔参考書・補助教材〕 高1 英語へのステップ (増進堂), Revised LANDMARK English Communication I Workbook standard (啓林館), 夢をかなえる英単語 新コメタン (0) (アルク), WHAT'S UP? 2016-17 Elementary (桐原書店), Zoom総合英語New Edition (第一学習社), Zoom English Grammar 27 New Edition (第一学習社), ウィズダム英和辞典(三省堂)					
担当教員	飯屋 衣里					
到達目標						
1. 語彙と文法知識 2. 聞くこと 3. 読むこと 4. 話すこと 5. 書くこと						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	体系的に理解した語彙項目や文法項目を到達目標2～5の理想的な到達レベルの中で活用することができる。		教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について体系的に理解し再生できる。		教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について理解することができる。	
評価項目2	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、それについて適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や対話などの内容や意味について理解し、それについて適切な反応を行うことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容について理解することができる。	
評価項目3	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、それについて適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や文章などの内容や意味について理解し、それについて適切な反応を行うことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容について理解することができる。	
評価項目4	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、それについて適切な反応を口頭で行うことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を口頭で発表することができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容や与えられた指示通りに音声を口頭で再生することができる。	
評価項目5	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、それについて適切な反応を記述で行うことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を書くことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容や与えられた指示通りに語句や文を再生することができる。	
学科の到達目標項目との関係						
本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 2-b						
教育方法等						
概要	英文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文ができることをめざす。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。					
授業の進め方・方法	後期開講の英語 I Bと共に本校での英語学習の最初の段階で修得すべき科目として位置付けている。学修すべき内容は英語 I Bへ引き継がれる。					
注意点	予習・復習を十分にを行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。英語でのコミュニケーション能力向上のため授業の殆どは英語で行うので、授業中は英語でのコミュニケーションに努めること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		辞書の特徴と使用方法について理解し、学習に役立てることができる。	
		2週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		授業で扱われた語彙の意味を理解し、聞き取りや読み役に立てることができる。	
		3週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		授業で扱われた語彙を使って話したり書いたりできる。	
		4週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		英語を聞いて、語句や文を正しく聞き取ったり、必要な情報を得たりできる。	
		5週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		まとまった量の文章を意味を捉えながら読み、必要な情報を得たり概要や要点をまとめたりすることができる。	
		6週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		接続詞や代名詞を手がかりに文同士の関係を捉えて読むことができる。	
		7週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		目的や状況に応じて、音読や黙読など、適切な読み方を行うことができる。	
		8週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		やさしい読み物をたくさん読み、読むことの楽しさを味わうことができる。	
	2ndQ	9週	品詞と五文型		品詞と五文型の概念や用法について理解し、正しくまた適切に使用することができる。	
		10週	動名詞と不定詞		動名詞と不定詞のそれぞれの用法について理解し、正しく使用することができる。	
		11週	分詞と現在完了形		分詞と現在完了形の用法について理解し、正しく使用することができる。	
		12週	関係代名詞、S+V+ (O) +疑問詞		関係代名詞とS+V+(O)+疑問詞の用法について理解し、正しく使用することができる。	

		13週	現在完了進行形 seemの用法	現在完了形とseemの用法について理解し、正しく使用 することができる。
		14週	It～thatの形式主語構文 知覚動詞の構文	It～thatの形式主語構文と知覚動詞の構文の用法につ いて理解し、正しく使用することができる。
		15週	前期末試験	試験において達成度を確認し、間違った部分を自分の 課題として把握する
		16週		

評価割合

	試験	平常点	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0